

日本労働年鑑 第50集 1980年版  
The Labour Year Book of Japan 1980

第二部 労働運動

XI 農民運動

2 主要な農民運動

7 公害反対その他の運動

原子力船「むつ」母港化反対運動

長崎県漁連は七八年七月六日、佐世保重工救済という地域振興の名のもとに原子力船「むつ」の修理受け入れの結論をだした(一部本年鑑七九年版に既述、四一七～四一八ページ)。原子力船「むつ」は一〇月一日、青森県むつ市の大湊港を出港、一六日、長崎県の佐世保港に入港した。総評・社会党などで組織する「原子力船むつ佐世保入港阻止全国指導委員会」や地元の「むつ母港化阻止県民共闘会議」は前日から「むつ廃船、入港阻止」闘争を展開、入港当日はボートや漁船二十数隻を繰り出し海上封鎖作戦をとった。陸上でも市内各所で抗議集会やデモがおこなわれた。この抗議行動に参加した数は約五〇〇〇人といわれた。また当日の警備陣は機動隊四〇〇〇人、巡視艇四四隻、航空機四機で、六八年の米空母エンタプライズ入港阻止闘争時なみの厳戒体制であった。

一二月四日、日本原子力船開発事業公団と科学技術庁は「むつ」の新母港の候補地として鹿児島県坊津町・同県甑島里村・同県奄美大島瀬戸内町・宮崎県日南市・同県南郷町・和歌山県日高町・熊本県三角町など全国一カ所のリストアップを終了したが、これら新母港の候補地での反対運動が盛り上がりつつある。原子力船「むつ」は佐世保港での修理・点検(三年間)後、新母港に回航することが長崎県漁連と科学技術庁などの五者協定によって義務づけられている。

女川原発建設反対運動

宮城県牡鹿郡女川町の東北電力第一号原発建設計画は、六七年の公表以来一一年にわたる反対運動によって阻止されてきた。反対運動は女川・牡鹿・雄勝の三町の漁民を主力とする「原発設置反対期成同盟」であった。七七年一月の女川町漁協臨時総会では原発建設誘置は同意されたが、特別議決である「漁業権消滅」は規定の三分の二を得られず否決された(本年鑑七九年版四一八ページ参照)。

七八年八月二八日、女川町漁協は県警機動隊六〇〇人の厳戒体制のもとに臨時総会を開き、原発建設にともなう「漁業権消滅」案を賛成四五四票、反対一二四票で可決した。反対期成同盟の漁民は議場内で強硬な反対行動をとり、外部では一〇〇〇人におよぶ支援団体員とともに反対集会を開き抗議行動をおこなった。七九年五月末、反対期成同盟は東北電力を相手に「女川原発差し止め請求訴訟」を仙台地裁に提出することを決定した。原発反対運動は世界的な動きでもあるが、七九年三月二八日の米国・ペンシルバニアのスリーマイルアイランドの原発事故の影響で全国的な盛り上がりを見せている。

## 七尾火力発電所建設反対運動

石川県七尾市の北陸電力七尾火力発電所予定地の七尾湾埋め立て作業は七八年四月に阻止されて以来中断していたが、七九年一月八日以来再開。同日、北電の作業船は海上保安庁の巡視艇一二隻に護衛され予定海域のトクサ湾に接近し作業を開始したが、反対派漁民の抗議行動により中断された。当日、反対派漁民は四〇隻の漁船に分乗しピケラインをはり侵入阻止行動を展開、陸上では石川県評・七尾地区労の労働者八〇〇人が海上での海上封鎖作戦の支援行動をおこなった。この阻止行動は二日までの三日間つづけられ、ついに作業中止においこんだ。

## 川辺川ダム建設反対運動

建設省は六六年七月、熊本県球摩郡五木村に「川辺川ダム」建設計画を公表したが反対運動にあい一三年間にわたり延期されている。ダム建設反対は、村議会の反対決議をはじめ全村あげてのものであったが、当局の切り崩しのもとで条件賛成派が力を得つつある。反対派農民は七六年六月、建設省を相手に「基本計画の取消しを求める行政訴訟」を熊本地裁に提訴、ついで七八年一二月、熊本地裁の「民主的話し合いによる解決」を要望する和解勧告案が出された。七九年五月現在、絶対反対派として五木村水没者地権者協議会(七五世帯)と相良村水没者地権者協議会(一七世帯)が活動している。

## 八ツ場ダム建設反対運動

建設省が五二年五月公表した、群馬県吾妻郡の「八ツ場ダム」計画は二七年後の現在いぜんとして難航している。反対派住民は「八ツ場ダム反対期成同盟」に結集して建設計画に難色を示しており、とくに建設省や群馬県当局の生活再建案を机上プランにすぎぬとして反対をつづけている。

## 新大隅開発計画反対運動

鹿児島県の大隅開発計画は反対運動にあい大幅に計画を縮小され、現在新たな構想のもとで再提示されている。現地関係農・漁民と住民はそれぞれ多様な反対組織のもとで反対行動を展開、七八年一一月一二日、同県曾於郡志布志町の大浜海岸に五五〇〇人を結集し、「新大隅開発計画粉碎志布志新港拡張反対大集会」を開催した。この大集会は志布志湾を守る漁民会議・志布志湾の自然を守る会・志布志湾の公害を防ぐ会・志布志湾公害反対連絡協議会・串間市(宮崎県)志布志湾公害反対期成同盟会・鹿児島県・宮崎県新大隅開発計画反対共闘会議の六団体の共催であった。

日本労働年鑑 第50集 1980年版

発行 1979年11月10日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月25日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1980年版(第50集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---